

2021年5月13日
イオンリテール株式会社

“スマートな” 買物体験を実現するAIシステムを順次拡大 「AIカメラ」が、おもてなしや、より良い売場づくりをサポート 「AIカカク」で適切な価格を提示、食品ロスも削減

イオンリテールは5月オープン予定の「イオンスタイル川口」（埼玉県川口市）を皮切りに、店内カメラの映像を分析し、接客や判断業務、より良い売場レイアウトの実現につなげる「AIカメラ」を約80店舗に順次導入します。

また、7月までにほぼ全店（約350店舗）へ商品の販売実績や天候・客数などの環境条件を分析し、割引時に適切な価格を提示する「AIカカク」を順次導入します。



AIカメラを活用した接客イメージ



AIカカクの使用イメージ

➤ 「AIカメラ」：店内映像を分析し接客・売場改善をサポート

店内カメラを通じて映像を分析し、ベビーカーやランドセル売場などで購入を検討されているお客さまを判断し、従業員へ通知することで、近くに居ない場合でもお待たせすることなく接客対応ができます。

また、AIカメラで撮影した映像データを分析することで、お客さまの立ち寄り時間の長い売場や動線、手を伸ばす頻度が高い商品棚などを可視化し、売場レイアウトの変更や店舗ごとに異なる売れ筋商品の充実につなげます。

➤ 「AIカカク」：適切な価格を提示し、食品ロスのさらなる削減にも繋げる

販売実績や天候・客数などの環境条件をAIが学習し、総菜売場の商品^{※1}のバーコードを読み取り、陳列数を入力するだけで適切な割引率を提示します。データに裏付けされた価格で販売することで、食品ロス削減の取り組みにもつながるほか、値下げや売り切り業務に関わる教育時間も軽減できます。

【「AIカメラ」・「AIカカク」導入計画】

➤ 「AIカメラ」

導入開始日：2021年5月 本格導入

導入店舗：イオンスタイル川口（カメラ台数：約150台）
2021年度中に約80店舗^{※2}へ順次拡大予定

➤ 「AIカカク」

導入店舗：2021年5月13日時点 関東・東海の約140店舗で導入済

2021年7月までに本州（東北を除く）・四国の約350店舗^{※2}へ導入完了予定

※1：2021年5月13日現在、一部の商品に限ります。今後、適用できる商品を拡大します。

※2：導入予定店舗数は2021年5月13日時点の情報です。

【A Iカメラ 3つのポイント】

➤ 接客を必要とするお客さまをA Iカメラが感知、従業員に通知しスムーズな接客へ

衣料品や暮らしの品売場では、お客さまの行動を分析・学習することで接客が必要かどうかをA Iが判断します。「A Iカメラ」の分析・学習機能により、接客を必要とするお客さまを自動的に感知し従業員に通知することで、離れた売場や壁越しで作業していても把握ができ、お待たせすることなく接客対応することが可能です。



商品を眺めているお客さまを感知（A Iが分析し、接客が必要かどうかを自動的に判断）



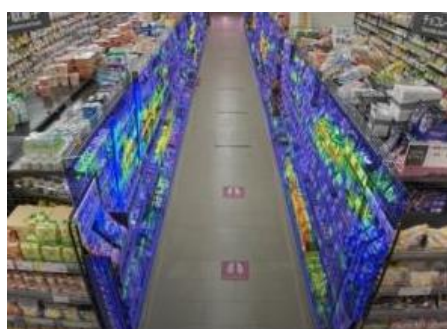
映像を分析し、従業員に通知



従業員が売場に駆けつけ接客対応を実施

➤ A Iによる年齢推定・自動アラートでレジ従業員の負担を軽減

レジ前に設置したカメラの映像をもとにA Iがお客さまの年齢を分析し、未成年者と推定した場合は自動でレジ従業員に通知します。A Iを活用することにより高精度で推定され、偏見での判別がなくなるため、より安心して買物いただけます。また、レジ従業員が年齢確認の判断業務から解放されます。



➤ 売場での行動を分析・集積し、注目度・利用頻度を“見える化”

お客さまの店内動線や売場への立ち寄り時間、手を伸ばした商品棚などの情報を自動で集積し「ヒートマップ」※3で可視化します。これにより、店内レイアウトや商品の品揃え改善ができるほか、通路変更を行った場合のシミュレーション分析も可能になり、より買物のしやすい売場づくりにつながります。

※3：利用率の高い箇所を赤色、低い箇所を青色とし、利用率の高い箇所から低い箇所までをグラデーションで色分けした映像のこと。

【A I カカク 2つのポイント】



➤ データに基づきA Iが適切な割引率を提示^{※4}

販売実績や天候・客数などの環境条件をA Iが学習し、時間帯ごとに各商品の陳列量に応じて適切な割引率を提示します。

2020年11月から先行導入を実施した店舗においては、「コロッケ」や「天ぷら」などの総菜に関して、平均で割引率が2割強、改善しています。A Iカカクを導入したパイロット運用の店舗はいずれも同程度の改善を達成しており、以降の導入店舗でも対象商品において同程度の効果を見込んでいます。

➤ バーコードを読み取り、陳列数を入力するだけの簡単操作

売場での操作を「商品バーコードのスキヤン」と「陳列数の入力」のみに限定したシンプルなシステム設計と見やすい画面設計にしています。入力後はA Iが提示した割引率で携行のシール発行機から自動印刷され、該当商品にシールを添付すると作業が完了します。経験に関わらず作業を進めることができ、値下げや売り切り業務に関わる教育時間も軽減できます。

※4：2021年5月13日現在、総菜売場の約40%の商品に適用しています。今後システム拡張により、A Iカカクを適用する商品カテゴリを順次拡大予定です。